

## 2024年度重点施策

Vision2036の策定と推進、活力に溢れ Sustainableな学会へ

Vision2023に基づいてこれまで重点施策を掲げて活動が展開され、具体的な活動等に繋がって成果も挙げてきた。2023年度には Vision2023 活動の総括に基づいて Vision2036 を策定し、その実現にむけて活動を始める年となる。一方で、2019年度 APCChE において発出した札幌宣言において提示した「Efficiency から Sufficiency」の考え方に基づく活動も継続して行われている。

\*科学技術とは、人々の幸福や社会のために資するように使われるものであるが、昨今では科学技術によってつくられた環境に社会や人間が合わさなくなっている。「Sufficiency」は、より良い社会とは、を問うところから掲げられた。

2023年度に引き続き、2024年度も下記3つの視点（学会の体制と機能、人材育成、イノベーション）での重点施策を掲げる。Vision2036のもと、カーボンニュートラルの目標設定、AI・デジタル変革の進展など社会環境が変化する中、「Sufficiency」を意識し、目標を再確認し、スピード感を持って取り組んでいく。

## 1) 化学工学会の体制・機能強化

化学工学と化学工学会を通じて科学技術の社会実装と普及に貢献するために、学会の体制の見直しと発信力の強化を図る。国内外問わず学会外の組織との連携強化も積極的に進める。

- 1-1) 学会運営の可視化と機能強化
- 1-2) 社会への貢献
- 1-3) SNSを含めた社会への発信力の強化
- 1-4) 国際連携の推進・強化

## 2) 人材育成、人材活用

社会が求める新たな化学工学の育成・実践基盤の構築に向けて

- 2-1) 「化学工学の教科書」の有効活用に向けた働きかけ
- 2-2) 幅広い世代が化学と化学工学に触れ、興味を持つ仕掛け、活動の推進
- 2-3) SDGs、ダイバーシティの推進

## 3) イノベーションの提案と実践

カーボンニュートラル社会、デジタル革新による創造社会（Society5.0）などの実現には、ありたい未来社会の姿の構想からのバックキャストによるイノベーションが必要。

- 3-1) 再生可能エネルギーの本格導入に対する化学工学の貢献
- 3-2) カーボンニュートラルなプロセス・コンビナートの構築への化学工学の貢献
- 3-3) 化学製品設計・製造・プラントへの AI、DX の導入に向けた貢献

## [1] 公益事業

## 1. 学術集会事業

## (1) 本部大会

- ・第89年会 (令和6年3月18~20日) 大阪公立大学中百舌鳥キャンパス  
・一部オンライン併用開催
- ・第55回秋季大会 (令和6年9月11~13日) 北海道大学札幌キャンパス

## (2) 支部大会

- ・関東支部 (2024年11月) 栃木県
- ・合同支部(関西・中国四国)大会 (2024年12月)

- (3) 講演会、シンポジウム  
・各種講演会、シンポジウム、講習会、技術交流会等の開催

## 2. 国際交流事業

### (1) 国際化を促進する。

- ① インド、カナダと新たに MOU を締結し、国際交流事項を発展する。
- ② 外地域委員制度を実施し、各国の帰国留学生の連携を強化する。
- ③ ホームページの国際関連記事の英文化をより一層進める。
- ④ アジア各国の化学工学会の動向に注目し、日本・韓国・台湾との合同シンポジウムを年 1 回、持ち回りで引き続き開催する。
- ⑤ 中国と日中化工シンポジウムを隔年交互に開催する。
- ⑥ アセアン諸国とは RSCE への参加を通じて積極的に交流し、APCChE への参加を促す。
- ⑦ 年会で併催の国際シンポジウム (International Chemical Engineering Symposia 2024, IChES2024) をより発展させる。当シンポジウムにて、化学工学会アジア国際賞の受賞者による受賞講演を行う。
- ⑧ AIChE や DECHEMA とのジョイントシンポジウムを積極的に開催する。
- ⑨ 外留学生交流会を引き続き産学連携センターと共同で開催する。

### (2) 各国委員会

- ① 中国委員会  
年 4 回の委員会の開催と講演会を開催する。日中ワークショップを企画する。
- ② 韓国委員会  
2024 年度の韓国化学工学会主催の「化学工学に関する国際シンポジウム」(沖縄市)を開催する。  
2024 年度韓国化学工学会秋季大会にて日韓台合同シンポジウムを開催する。  
韓国化学工学会主催の「ASCON-IEECh2024」(広島市)を開催する。
- ③ 台湾委員会  
2024 年度韓国化学工学会秋季大会にて日韓台合同シンポジウムを開催する。
- ④ アセアン委員会  
2024 年度にタイと MOU を締結予定。
- ⑤ 米国委員会  
AIChE 年會にて、TwIChE との合同レセプションを企画する。  
また、年會以外にも協力できる内容について意見交換する。
- ⑥ ドイツ委員会  
DECHEMA 主催の展示会 (ACHEMA2024) にて、日独合同シンポジウムを企画する。
- ⑦ WCEC (World Chemical Engineering Council) / APPChE 委員会  
2025 年度に北京において WCCE+APPChE が開催される。  
WCEC: World Chemical Engineering Council  
APCChE: Asia Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress

## 3. 人材育成事業

- ・資格制度と技術者教育を両輪として連携させた教育体系の活動強化と技術者の生涯にわたる学習を支援。

### (1) 経営ゼミナール委員会

- ・社会経済の動きに即応し、リーダーシップを発揮できる経営者の育成。
- ・第 50 回経営ゼミナール (2024 年 8 月 30, 31 日名古屋、9 月 27, 28 日湘南、10 月 25, 26 日相生、11 月 22, 23 日幕張) の実施。テーマ: 「シン・社会へのリジェネレーションを起こせ! ~自らを変え、変革の波を創る~」。
- ・経営ゼミナール特別講演会 (第 18 回: 11 月 23 日) の実施。過去の受講者が集う場

の提供による産産交流。

(2) 継続教育委員会

- ・企業の若手技術者（入社～10年程度）が実務に直結した技術を学ぶ機会を提供。
- ・本会現有プログラム（プラントエンジニアリングコース、安全エンジニアリングコース、環境エンジニアリングコース）の実施、及び、日本粉体工業技術協会（粉体エンジニアリングコース）への協賛。
- ・講座の特徴を活かして、それぞれ対面またはオンラインで開催（年間約70日）。オンライン開催の場合も、少人数、かつ、オリエンテーションを行うなど、一方通行にならないように工夫をして実施。
- ・受講者の理解度向上のため、事前アンケートによる受講目的把握。テキスト事前送付による予習促進。修了レポート実施と質問メール受付による復習をサポート。
- ・「化学工学技士（基礎）」を保有する若手社員を対象にした受講料割引制度の実施。
- ・受講と修了レポートの結果に応じて「継続教育ポイント」を付与。
- ・事後アンケート等に基づく既存プログラムのメンテナンスと、新規プログラムの拡充。
- ・修了レポートの提出率向上に向けた取り組み。

(3) 高等教育委員会

- ・社会の要求に応じた高等教育機関の技術者教育を改革する活動を実施。
- ・化学工学系の学生を対象の「集まれ 化学工学に触れている学生諸子の会」を各社におけるインターンシップの紹介に特化して実施（第5回：5月末～6月初旬、Zoomを用いたオンライン開催）。
- ・Chemical-Energy-Car Competition 2024（2024年8月25日、Zoomを用いたオンライン開催）の実施。
- ・SIS 部会情報技術教育分科会「プロセスデザイン学生コンテスト」への共催。
- ・産業界が必要とする具体的な化学工学教育のカリキュラム・科目の検討。また、それに基づいた収益事業の模索。

(4) 未来人材育成委員会

- ・「学生発表会」（2024年3月2日、Zoomを用いたオンライン開催）の実施と、2025年度（2025年3月1日）に向けた準備。
- ・「化学モノづくり動画」（夢・化学21）の新規教材作成と、既存教材の活用促進に向けた啓蒙活動。

(5) J A B E E 連絡委員会

- ・日本技術者教育認定機構（JABEE）及び化学分野 JABEE 委員会が活動するに際し、本会と協業する際にはその窓口となり活動。

(6) その他

- ・キャリアに応じたプログラムの提供と各プログラムから次ステップへの案内、及び、会員増強への貢献。
  - －「化学工学技士（基礎）」から「継続教育」
  - －「継続教育」から「化学工学技士」
  - －「化学工学技士」から「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」「上席化学工学技士」
  - －「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」から「経営ゼミナール」「上席化学工学技士」
- ・「知的生産性を高めるチームづくり」講座（2024年夏及び冬頃）の開催。

4. 資格付与事業

(1) 資格制度運営

- ・「上席化学工学技士」の審査（一次書類審査2024年6月、二次論文審査年7～9月、三次面接審査10月中旬・対面）に向けた運営、認定。
- ・「化学工学技士」の試験実施（2024年8月24日東京・大阪）に向けた運営、認定。
- ・「化学工学技士（基礎）」の試験実施（2024年9月28日全国各地会場）に向けた運営、認定。
- ・「化学工学技士（基礎）」取得者への「継続教育ポイント」付与。
- ・「化学工学技士（基礎）」合格と「継続教育」受講で得た「継続教育ポイント」を利用した無料での「化学工学技士」受験促進。

## 5. 出版事業

### (1) 学会誌

- ・誌面充実を図るべく、連載企画を増やし、読者に役立つ記事を折り込むよう努める。
- ・学会活動共有に向け、本部・支部内のタイムリーな情報をできる限り掲載していく。
- ・運営面においても、電子版終了に伴うデジタル媒体の集約や委託業者変更におけるスムーズな引継ぎなど、円滑に遂行できるよう取り組んでいく。

### (2) ホームページ

- ・本部 Web サイトのリニューアル後もさらなる改善を進めていく。
- ・掲載内容の精査、円滑な広報活動に向けた PDCA サイクルを回していく。

### (3) 広告

- ・化工誌広告および本部 Web サイトバナー、大会関連広告（ブース展示、申込サイト Web バナー、プログラム冊子広告等）について、より幅広い営業活動を目指す。
- ・広告の新規獲得に向け、新入法人会員への広告勧誘依頼、化工誌特集記事と連動した広告獲得の強化に努める。

## 6. 受託事業

- ・ビジョン推進委員会は、策定された VISION2036 についてアクションプランをもって推進する。
- ・SDGs 検討委員会では、産学双方からの委員 20 名ほどの体制で札幌宣言の具体化に取り組んでいる。  
第 89 年会で「SDGs 達成に向けた札幌宣言の実行—ありたい未来社会のための化学工学—」を主催し、APCChE2023 で SDGs に関するシンポジウムを企画、第 55 回秋季大会でもシンポジウムを企画する。
- ・CCUC 検討委員会では、CO2 回収・利用・貯留 (CCUS) 技術の社会実装を検討するためのモデルベース評価基盤を整備し、シンポジウム等で成果を公開するなど広く活動していく。
- ・CSR 委員会では、化学工学および化学工学会の社会的価値向上のため、「化学工学は科学技術分野で培った理論を社会システムへと適用し、社会課題の解決にも貢献しうる学問である」ことを広く認知してもらうことが重要と考え、これを実現すべく、化学工学的思考法の魅力を伝える出版物の製作をはじめ、種々具体的な企画を展開する。
- ・地域連携カーボンニュートラル推進委員会では、① 分科会と WG の連携強化により、地域産業および地域コミュニティとの融合から、地域や時系列を考慮した 2050 年カーボンニュートラル社会に向けたシナリオ構築を行う。② 第 89 年会および第 55 回秋季大会にて、特別シンポジウム（一般公開）を主催して、化学工学が挑む未来社会について情報発信する。③ コンビナート連携推進機構との連携強化により、具体的なケーススタディ、カーボンニュートラルに必要な技術や学問体系の展開・深化をリードする。

## 7. 技術相談事業

- ・年会に於ける産主導の産業セッション開催による産業人の年会参加推進
- ・常置委員会の活動支援による産学官交流促進
- ・法人会員向け情報発信強化による産業人の学会活動への参加促進
- ・技術相談サービスの継続
- ・官との関係強化を目指したイベントの立案と開催

## 8. 審査事業

- ・2023 年 1 月から海外出版社で JCEJ オープンアクセスジャーナルとして公開を開始した。
- ・JCEJ の掲載料 (APC) が従前より高額となるため、本部および部会が APC 支援を行える体制を整備し、7 部会 11 編の論文が部会支援のもと公開され、1 論文が学会支援で公開

された。

- ・2023年度はオープンアクセス化した JCEJ への海外からの投稿数が減少したため、今後、海外出版と交渉を行い、APC の値上げ幅を縮小するとともに、JCEJ Advisory Board 等を設置し、海外からの投稿を増やす方策を行う。
- ・和文誌の投稿記事数を促進するため、広報など含め新たな取組を模索する。

#### 9. 表彰事業

- ・名誉会員候補者の推薦
- ・2024年度化学工学会賞の表彰

#### 10. 男女共同参画事業

- (1) 講演会・セミナーの開催
  - ・年会で開催の「女性技術者フォーラム」において、女性賞受賞記念講演を実施
  - ・秋季大会などにおいて「女性技術者ネットワーク」を開催
- (2) 情報発信
  - ・会誌「化学工学」の「広がれ！ダイバーシティ」に寄稿者を推薦  
→キャリア形成に関する紹介を行う記事を掲載
- (3) 交流・意見交換の場の提供
  - ・「女性技術者ネットワーク」「世界女性朝食会」を継続的に開催
  - ・オンラインシステムを活用し交流の場を広げる
- (4) 参画支援活動
  - ・本部大会期間中における保育サービスの実施
- (5) 対外活動
  - ・男女共同参画学協会連絡会の参加
  - ・支部・部会・他委員会との連携
  - ・他学協会行事への積極的参加による活動アピール

### [2] 収益等事業

#### 1. 展示出展事業

隔年で実施する総合展示会「INCHEM TOKYO」の次回2025年開催分について、従前どおりの共催（一般社団法人日本能率協会）を基本として関係者と協議し、実施体制の構築ならびに開催準備を進めていく。

#### 2. 相互扶助事業

- (1) 支部・懇話会
  - ・地域CT賞の表彰
- (2) 部会
  - ・本部大会等での魅力あるシンポジウム、討論会の実施
  - ・産学官連携の推進
  - ・部会CT賞の表彰
  - ・情報発信力の強化(部会HP等)

### [3] 刊行物

#### 1. 定期刊行物

- (1) 「化学工学」誌 第88巻No.1～12号(12冊)
  - ・ページ数：50ページ/号平均
- (2) 「化学工学論文集」第50巻No.1～6
  - ・ページ数：32ページ/号平均

電子版：奇数月発行 6 回/年

冊子版：1、3月号、5、7月号、9、11月号を合本として年 3 回発行

(3) “JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN” 第 56 卷

・掲載件数：年間 100 報程度

電子版：審査終了した論文から随時公開する

冊子版：発行しない

[4] 支部事業

別紙「2024 年度各支部事業計画書」参照

[5] 部会事業

別紙「2024 年度各部会事業計画書」参照

2024年度支部事業計画書  
(自2024年3月1日～至2025年2月28日)

公益社団法人化学工学会

[ ]共催行事・( )地区懇話会名等・○印日程未定

		北海道支部	東北支部
2024年3月			
4月			○ (青森)青森化学工学懇話会総会 ○ (岩手)岩手化学工学懇話会総会 ○ 東北支部特別講演会(東北大) ○ (宮城)宮城化学工学懇話会総会(東北大)
5月	○ 第1回常任幹事会(札幌)		○ (福島)福島化学工学懇話会総会 ○ (福島)福島化学工学懇話会講演会
6月			○ 第26回先端研究発表会(東北大) (東北支部・宮城化学工学懇話会共同主催) ○ (秋田)秋田化学工学懇話会総会 ○ (秋田)第56回ケミカルエンジニアリング交流会 ○ (山形)山形化学工学懇話会総会 ○ (山形)山形化学工学懇話会講演会
7月	○ 第1回役員会(札幌) ○ 令和6年度見学会および講演会<第168回講演会>		○ 第67回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)
8月			
9月			14-15 [令和6年度化学系学協会東北大会(秋田大学)](東北支部共催) ○ 第32回東北支部若手の会セミナー(福島) ○ 第29回東北ジョイント夏季セミナー(福島) ○ 東北支部令和6年度第1回役員会
10月	○ 第26回アカシアセミナー <第169回講演会>		○ (青森)青森化学工学懇話会講演会(東北支部協賛) ○ 第68回プロセス設計技術講演会・見学会(山形) ○ (福島)福島化学工学懇話会工場見学会
11月	○ [2024年度微粒子工学講演会]		○ (岩手)[第34回化学工学一関セミナー(一関高専)](東北支部共催) ○ 第34回ベニバナコンファランス(東北支部協賛)
12月	○ 第2回常任幹事会(札幌)		○ (秋田)第57回ケミカルエンジニアリング交流会 ○ (山形)山形化学工学懇話会技術講演会 ○ (福島)第15回福島地区CEセミナー(東北支部協賛)
2025年1月	○ 第34回化学工学・粉体工学研究発表会(札幌) ○ 第2回役員会		○ 東北支部令和6年度第2回役員会(宮城) ○ 第69回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)
2月			





# 2024年度支部事業計画書

公益社団法人化学工学会

(自2024年3月1日～至2025年2月28日)

[ ]共催行事・( )地区懇話会名等・○印日程未定

関西支部		中国四国支部		
2024年3月	2 6  11 18-20	[本部 共催]第26回化学工学会学生発表会(オンライン) 先端技術を支える単位操作シリーズ「乾燥関連(仮)」  第1回幹事会(大阪科学技術センター) 化学工学会第89年会(大阪公立大学中百舌鳥キャンパス)	1 26-28  25 ○ 28	<中国>第24回プラント保全研究会(広島) <山口>第28回化学工学基礎講習会(周南市)  <徳島>第51回理事会 ○ 第1回支部役員会 <岡山>岡山大学研究拠点形成支援事業 (カーボンニュートラル拠点型)の講演会(岡山)
4月	○ ○	化学工学イノベーション研究会第29回研究会 <播磨>第25回定期総会・第1回幹事会(姫路)	22	<中国>総会・記念講演会(広島)
5月	24 ○	セミナー「カーボンニュートラル(仮)」 <北陸>定期総会・第1回理事会	○	<岡山>総会・特別講演会(岡山)
6月	28  ○ ○ ○ ○	先端技術を支える単位操作シリーズ「プロセス制御関連(仮)」 (大阪科学技術センター)  セミナー「リジェネラティブ社会に向けたバイオマス最先端利用(仮)」 第2回幹事会(統一WG会議) 学生の会大学見学会・月例セミナー	○  ○  ○	<徳島>第38回総会・第115回記念講演会(徳島)  <山口>総会・第83回講演会・見学会(場所未定)
7月	4 ○	開発型企業連携研究会セミナー&ミキサー プラント・プロセス研究会第25回見学会	○	<中国>新技術交流会(大竹)
8月	○ ○ ○ ○	化学工学技士試験 学生の会企業見学会 <北陸>第17回北陸地区化学工学研究交流会 <北陸>第228回装置懇話会	○ ○ ○ ○	<中国>広島大学オープンキャンパス(東広島)  <山口>第29回化学工学基礎講習会(宇部) [中国四国]中四国若手CE合宿(山口) <岡山>産学官技術者・研究者研修会(岡山)
9月	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	先端技術を支える単位操作シリーズ「攪拌関連(仮)」 基礎化学工学講座[反応工学編]第1講 基礎化学工学講座[反応工学編]第2講 基礎化学工学講座[反応工学編]第3講 基礎化学工学講座[反応工学編]第4講 化学工学技士(基礎)試験 工業化技術研究会第23回研究会 <播磨>第16回工学基礎講座(姫路)	○  ○  ○  ○  ○  ○	<中国>基礎化学工学講習会(東広島)
10月	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	セミナー「半導体関連(仮)講演・見学会」 第3回幹事会 第29回実践化学工学講座「化学工学の基礎」 第29回実践化学工学講座「反応工学」 第29回実践化学工学講座「蒸留」 第29回実践化学工学講座「晶析」 プラント・プロセス研究会第26回見学会 化学工学イノベーション研究会第30回研究会 <北陸>第2回理事会 <播磨>第2回幹事会(姫路)	○ ○ ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○	<岡山>化学工学基礎講習会(R5年度第1回)(岡山) 第2回支部役員会
11月	○ ○ ○ ○ ○  ○ ○ ○ ○	日本-台湾ジョイントシンポジウム 第29回実践化学工学講座「吸着」 第29回実践化学工学講座「粉粒体」 第29回実践化学工学講座「流動・伝熱」  第29回実践化学工学講座「膜分離」  学生の会企業見学会 <北陸>第75回化学工学講習会 <播磨>企業見学会(姫路)	○ ○ ○ ○  ○  ○  ○	<中国>2024年度セミナー(場所未定) <徳島>工場見学会(徳島) <岡山>化学工学基礎講習会(R6年度第2回)(岡山)
12月	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	[中国四国支部 共催]合同支部大会 [SIS部会PO分科会 共催]第41回プラントオペレーションに関する 現場監督者セミナー  開発型企業連携研究会 セミナー&ミキサー 第4回幹事会 第29回実践化学工学講座「乾燥」 第29回実践化学工学講座「攪拌・混合」 第29回実践化学工学講座「プロセス制御」 学生の会大学見学会・月例セミナー	○ ○ ○  ○  ○  ○  ○  ○	<徳島>徳島化学工学懇話会第119回講演会(徳島)  <山口>第36回化学工学研究会(宇部)
2025年1月	○ ○ ○ ○ ○	第37回CES21講演会 第28回関西支部・和歌山地区共催セミナー 化学工学イノベーション研究会第31回研究会 <北陸>第229回装置懇話会	○ ○ ○ ○ ○	<岡山>第75回化学工学コロキウム(岡山) <岡山>学生工場見学会(場所未定) <山口>第84回講演会・見学会(場所未定)
2月	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	第5回幹事会 セミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向:講演&見学会(仮)」 実践化学工学アドバンス講座「攪拌・混合」 工業化技術研究会第24回研究会 プラント・プロセス研究会第27回見学会 <北陸>第3回理事会 <播磨>第3回幹事会(姫路) <播磨>第41回播磨産業フォーラム	○  ○  ○  ○  ○  ○	<岡山>第76回化学工学コロキウム(岡山)

# 2024年度支部事業計画書

(自2024年3月1日～至2025年2月28日)

公益社団法人化学工学会

[ ] 共催行事・〈 〉 地区懇話会名等・○ 印日程未定

九州支部		
2024年3月		
4月	○	第1回執行部会
5月	○ ○	第1回幹事会 〈北九州〉総会・講演会
6月	○ ○ 28	〈西九州〉総会・講演会 〈南九州〉総会・講演会 第62回化学関連支部合同九州大会
7月	17-19 19-20 20 24-26	第55回化学工学の基礎講習会 第35回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 第30回九州支部学生賞審査会 第55回化学工学の基礎講習会
8月	7/31- 8/2 ○	第55回化学工学の基礎講習会 〈南九州〉化学工学基礎講習会
9月	○ ○ ○ ○ ○	〈南九州〉化学工学基礎講習会 執行部会(拡大執行部会) 〈東九州〉総会・講演会 〈西九州〉講演会 〈沖縄〉講演会
10月	○ ○	第17回延岡出前講習会 国際交流事業(ザグレブ)
11月	○ ○ ○ 29-12/1	第17回延岡出前講習会 [ワークショップ(五島)石油学会九州・沖縄支部担当] 第10回九州地区大学-高専若手研究者研究・教育セミナー ISChE2024(沖縄)
12月	○	第17回延岡出前講習会
2025年1月	24 24	第27回企業と大学・高専の人材育成懇談会 執行部会
2月	○	第2回幹事会

## 2024年度 部会事業計画書

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 国際関連事業               | 2. シンポジウム・講演会などの行事 |
| 3. 本部大会・支部行事関連行事        | 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動 |
| 5. 出版物・特集号などの化学工学出版への寄与 | 6. 受託事業の推進         |
| 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行  | 8. 特記事項            |

(記載事項のない項目は掲載省略; 年号記載ないものは2024年3-12月、2025年1-2月)

### バイオ部会

#### 1. 国際関連事業

行事名 19th International Biotechnology Symposium and Exhibition (IBS2024)  
開催年月日 2024年6月30日-7月3日  
会場 Maastricht Exhibition & Congress Centre, Maastricht, Netherlands  
オーガナイザー 未定  
主催 IBS2024 実行委員会  
共催 化学工学会バイオ部会

行事名 YABEC (Young Asian Biological Engineers' Community) 2024  
開催年月日 2024年10月17-19日  
会場 韓国 釜山 Busan Arpina Hotel  
オーガナイザー 加藤竜司(名古屋大)、今中洋行(岡山大学)、山田真澄(千葉大学)、小西正朗(北見工大)  
主催 YABEC2024 実行委員会  
共催 化学工学会バイオ部会

行事名 21st BSSS2024 (BioSeparation Symposium & School) 第21回バイオ分離シンポジウム  
開催年月日 2024年12月5-7日(予定)  
会場 山口県宇部市  
参加者 40名程度(招待講演2-3件含む)  
オーガナイザー 山本修一(山口大)、Alois Jungbauer (BOKU, Austria)  
主催 化学工学会バイオ部会  
共催 AFOB Bioprocess and Bioseparation Engineering (BBE) Division

#### 2. シンポジウム・講演会などの行事

行事名 2024年度日本食品工学会秋季見学会・講演会  
行事副題 未定  
開催年月日 2024年11月ごろを予定  
会場 未定  
参加者 40名程度  
発表件数 4題程度の予定  
オーガナイザー 未定  
主催 日本食品工学会  
共催 化学工学会バイオ部会

#### 3. 本部大会・支部行事関連行事

行事名 化学工学会 第55回秋季大会【バイオ部会ポスターセッション】  
行事副題 未定  
開催年月日 2024年9月11-13日のいずれか1日  
会場 北海道大学札幌キャンパス  
参加者 250名程度(関係企業含む)  
発表件数 100件  
オーガナイザー 未定

主催 バイオ部会

行事名 化学工学会 第 55 回秋季大会【バイオ部会シンポジウム】  
行事副題 未定  
開催年月日 2024 年 9 月 11～13 日のいずれか 1 日  
会場 北海道大学札幌キャンパス  
参加者 未定  
発表件数 未定(うち招待講演 1～2 件)  
オーガナイザー 未定  
主催 バイオ部会 食糧・食品生産分野専門分科会  
共催 日本食品工学会(予定)

行事名 化学工学会 第 55 回秋季大会【バイオ部会シンポジウム】  
行事副題 未定  
開催年月日 2024 年 9 月 11～13 日のいずれか 1 日  
会場 北海道大学札幌キャンパス  
参加者 50 名程度(企業関係者含む)  
発表件数 未定  
オーガナイザー 未定  
主催 バイオ部会 生物プロセス分野専門分科会  
共催 未定

行事名 化学工学会 第 55 回秋季大会【バイオ部会シンポジウム】  
行事副題 未定  
開催年月日 2024 年 9 月 11～13 日のいずれか 1 日  
会場 北海道大学札幌キャンパス  
参加者 50 名程度(企業関係者含む)  
発表件数 未定  
オーガナイザー 未定  
主催 バイオ部会 生物情報分野専門分科会  
共催 未定

行事名 化学工学会 第 55 回秋季大会【バイオ部会シンポジウム】  
行事副題 未定  
開催年月日 2024 年 9 月 11～13 日のいずれか 1 日  
会場 北海道大学札幌キャンパス  
参加者 50 名程度(企業関係者含む)  
発表件数 未定  
オーガナイザー 未定  
主催 バイオ部会 生物分離分野専門分科会  
共催 未定

#### 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

行事名 2024 年度バイオ部会インフォーマルミーティング  
行事副題 未定  
開催年月日 2024 年 9 月ごろを予定  
会場 札幌市近郊を予定  
参加者 50 名程度  
発表件数 3 題程度の予定  
オーガナイザー 未定  
主催 バイオ部会

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与  
なし

6. 受託事業の推進  
なし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行  
Newsletter No. 59                    2024年6月発行  
Neweletter No. 60                   2024年12月発行

8. 特記事項  
バイオ部会 2023年度総会                    3月18～20日、第89年会(大阪公立大学)  
バイオ部会 2024年度第1回役員会        9月11～13日、第55回秋季大会(北海道大学)  
バイオ部会 2024年度第2回役員会        2月ごろ、未定

## 超臨界流体部会

---

### 1. 国際関連事業

- The 5th International Chemical Engineering Symposia 2024(化学工学会第89年会 国際シンポジウム)(K-3 Recent Research and Development of Supercritical Fluid Technology 2024)(2024/3/18～3/19)(堺市, 大阪)
- The 20th European Meeting on Supercritical Fluids (EMSF 2024)(2024/5/26～5/29)(Maribor, Slovenia)
- The 10th International Symposium on Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation (MTMS '24)(2024/8/26～8/29)(郡山市, 福島)

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- 超臨界流体技術の最前線(仮題)(繊維学会 超臨界流体研究委員会, SFC 研究会との共催)(企画・内容検討)
- 化学工学会 超臨界流体部会 第23回サマースクール(2024年8月開催予定)(場所:調整中)
- 超臨界流体技術討論会 2024(企画・内容検討)

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- 化学工学会第89年会 超臨界流体セッション(2024/3/18)(堺市, 大阪)
- 化学工学会第55回秋季大会 超臨界流体部会シンポジウム(2024/9/11～9/13)(札幌, 北海道)
- 化学工学会第55回秋季大会 部会横断型シンポジウム(反応工学部会 CVD 反応分科会)(2024/9/11～9/13)(札幌, 北海道)
- 化学工学会宇都宮大会 2024(3支部合同大会)(2024年11月開催予定)(宇都宮, 栃木)

### 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- 化学工学会 超臨界流体部会 基礎セミナー(2025年1月開催予定)(東京)
- 超臨界流体技術入門講座(企画・内容検討)

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- 化学工学会誌の年鑑の担当・執筆, 編集委員会への参加(特集企画), Topic 投稿
- 化学工学会誌年鑑 2024(2024年10月)
- 超臨界流体技術の最前線(企画・内容検討)
- 超臨界流体技術入門(企画・内容検討)

### 6. 受託事業の推進

- 超臨界流体部会 TLO(技術移転, 受託事業請負組織)部門の設立・編成
- プロジェクト研究の企画検討

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ニューズレターの発行(年2〜3回)  
SCF NEWSLETTER No.38(7月)  
SCF NEWSLETTER No.39(12月)

#### 8. 特記事項

- ・超臨界流体部会 部会長・副部会長・庶務会議(オンライン会議, オンサイト会議, メール審議)(年2〜5回開催)
- ・超臨界流体部会 役員会(執行部)(オンライン会議, オンサイト会議, メール審議)(年2〜5回開催)
- ・超臨界流体部会 2023年度第2回役員会(2024/3/18)(オンサイト&オンライン会議)(堺市, 大阪)
- ・超臨界流体部会 2024年度第1回役員会(2024/9/11)(オンサイト&オンライン会議)(札幌, 北海道)
- ・超臨界流体部会 第47回部会集会(2024/3/18)(対面会議)(堺市, 大阪)
- ・超臨界流体部会 第48回部会集会(2024/9/11)(対面会議)(札幌, 北海道)

## エネルギー部会

---

### 1. 国際関連事業

なし

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・第24回バイオマス関連部会・研究会合同交流会、バイオマス分科会(日時未定)
- ・その他

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第55回秋季大会におけるシンポジウム開催(部会横断型シンポジウム)(9月、北海道大学)
- ・第55回秋季大会におけるシンポジウム開催(特別シンポジウム)(9月、北海道大学)
- ・第55回秋季大会におけるシンポジウム開催(予定)(分科会)(9月、北海道大学)
- ・その他

### 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・第42回熱利用分科会研究会(熱利用分科会)(開催日時, 場所等未定)
- ・熱利用分科会第13回若手セミナー(熱利用分科会)(開催日時, 場所等未定)
- ・その他

### 5. 出版物・特集号などの化学工学出版への寄与

なし

### 6. 受託事業の推進

なし

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- 【エネルギー部会メール配信】部会員に対して主催・共催・協賛行事や人事公募などについて随時メール配信
- 【エネルギー部会 Web】分科会の目的, 主催・共催行事のスケジュール, 行事報告書を公開

## 安全部会

---

### 1. 国際関連事業

なし

## 2. シンポジウム・講演会などの行事

7月と10月のリスクベースサイバーセキュリティ講習会  
11月の安全講演会

## 3. 本部大会・支部行事関連行事

9月の秋季大会

## 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

### ①安全サロン年6回:

3月の第2回安全サロン、5月の第3回安全サロン、7月の第4回安全サロン、9月の第5回安全サロン、11月の第6回安全サロン、2025年第1回安全サロン

### ②プロセス安全に関するセミナー:

3月のサイバーセキュリティ本の発刊記念講演会、  
9月の第9回非定常HAZOPセミナー、2025年2月の第31回定常HAZOPセミナー

### ③ノンテクニカルスキル教育に関するセミナー:

5月の第6回体験教室意見交換会、5月の第2回初めてのノンテクニカルスキル講座、6月の第15回行動特性研究会、9月の第17回ノンテクニカルスキル講座、11月の第7回体験教室意見交換会、11月の第3回初めてのノンテクニカルスキル講座

### ④web ノンテクニカルスキル教育の体験教室とコンテンツ提供教室

2020年9月に開始したノンテクニカルスキル体験教室は8教室、コンテンツ提供教室は8教室に更に教室を追加して随時お申込み受付して開催中(3年前より継続)

ノンテクニカルスキル 2.0 コンテンツ提供教室も2023年4月から開始して継続中

### ⑤事故から学ぶオンデマンドコンテンツ配信事業

2021年8月に8コンテンツ、2022年1月に5コンテンツリリースし、随時お申込み受付中(3年前より継続)

## 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

化学工業日報社から「ノンテクニカルスキル 2.0 の教育(仮称)」を2024年9月に発刊予定

## 6. 受託事業の推進

なし

## 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

2022年10月に独立したHPでイベント発信、FBでニュース発信

## 8. 特記事項

2024年1月からサイバーセキュリティ講習会準備WGが発足して活動

## エレクトロニクス部会

---

### 1. 国際関連事業

・予定なし。ただし臨時開催はある。

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

・12月 シンポジウム(予定)

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

・第55回秋季大会「エレクトロニクス材料とプロセス」

### 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

・シンポジウム要旨集のホームページへの掲載

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
  - ・「化学工学」年鑑への寄稿
  - ・化学工学会誌小特集の提案・寄稿
6. 受託事業の推進
  - ・なし
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
  - ・部会ニュースの配信とホームページへの掲載
8. 特記事項
  - ・幹事会および幹事会講演 6 回開催予定
  - ・幹事会講演の部会員以外(一般)への公開継続

## 粒子・流体プロセス部会

---

1. 国際関連事業
  - なし
2. シンポジウム・講演会などの行事
  - 7 月と 10 月のリスクベースサイバーセキュリティ講習会
  - 11 月の安全講演会
3. 本部大会・支部行事関連行事
  - 9 月の秋季大会
4. 講習会・セミナーなどの啓発活動
  - ①安全サロン年 6 回:
    - 3 月の第 2 回安全サロン、5 月の第 3 回安全サロン、7 月の第 4 回安全サロン、9 月の第 5 回安全サロン、11 月の第 6 回安全サロン、2025 年第 1 回安全サロン
  - ②プロセス安全に関するセミナー:
    - 3 月のサイバーセキュリティ本の発刊記念講演会、
    - 9 月の第 9 回非常 HAZOP セミナー、2025 年 2 月の第 31 回定常 HAZOP セミナー
  - ③ノンテクニカルスキル教育に関するセミナー:
    - 5 月の第 6 回体験教室意見交換会、5 月の第 2 回初めてのノンテクニカルスキル講座、6 月の第 15 回行動特性研究会、9 月の第 17 回ノンテクニカルスキル講座、11 月の第 7 回体験教室意見交換会、11 月の第 3 回初めてのノンテクニカルスキル講座
  - ④web ノンテクニカルスキル教育の体験教室とコンテンツ提供教室
    - 2020 年 9 月に開始したノンテクニカルスキル体験教室は 8 教室、コンテンツ提供教室は 8 教室に更に教室を追加して随時お申込み受付して開催中(3 年前より継続)
    - ノンテクニカルスキル 2.0 コンテンツ提供教室も 2023 年 4 月から開始して継続中
  - ⑤事故から学ぶオンデマンドコンテンツ配信事業
    - 2021 年 8 月に 8 コンテンツ、2022 年 1 月に 5 コンテンツリリースし、随時お申込み受付中(3 年前より継続)
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
  - 化学工業日報社から「ノンテクニカルスキル 2.0 の教育(仮称)」を 2024 年 9 月に発刊予定
6. 受託事業の推進
  - なし
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行



2022年10月に独立したHPでイベント発信、FBでニュース発信

#### 8. 特記事項

2024年1月からサイバーセキュリティ講習会準備WGが発足して活動

## システム・情報・シミュレーション部会

---

### 1. 国際関連事業

- ・ ESCAPE-34/ PSE2024 (2024年6月2日～6日, Florence, Italy)
- ・ PSE Asia 2024, (2024年8月5日～8日, Penang, Malaysia)

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2024年3月)
- ・ プラントオペレーション分科会 第168回研究会 (2024年4月(予定))
- ・ PSE分科会第11回研究会 (2024年5月)
- ・ システム医薬分科会研究会 (2024年6月)
- ・ PSE分科会第12回研究会 (2024年7月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2024年7月)
- ・ プラントオペレーション分科会 第169回研究会 (2024年7月(予定))
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2024年9月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2024年9月:秋季大会)
- ・ PSE分科会第13回研究会 (2024年10月)
- ・ プラントオペレーション分科会 第170回研究会 (2024年10月(予定))
- ・ 第67回自動制御連合講演会 (2024年11月23～24日)
- ・ ダイナミックプロセス応用分科会第1回研究討論会 (2024年11月(予定))
- ・ システム医薬分科会研究会 (2024年12月)
- ・ PSE分科会第14回研究会 (2024年12月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2024年12月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2025年1月)
- ・ プラントオペレーション分科会 第171回研究会 (2025年1月(予定))
- ・ PSE分科会第15回研究会 (2025年2月)

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- 第55回秋季大会シンポジウム (2024年9月11～13日, 北海道大学)
- ・ プロセスシステム工学の最近の進歩 (2024年9月12日)
- ・ 第23回プロセスデザイン学生コンテスト (2024年9月13日)
- ・ ダイナミックプロセス応用分科会 部会横断型シンポジウム(タイトル未定)
- ・ システム医薬分科会 シンポジウム(タイトル未定)

### 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 第41回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー (開催時期未定)

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学年鑑(10月号)執筆

### 6. 受託事業の推進

なし

### 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会員(約300名)宛のメールマガジンを不定期に発行予定(年間15～20通程度)
- ・ 部会ホームページの更新および拡充

## 8. 特記事項

- SIS 部会幹事会 (2024年3月, オンライン or 大阪公立大学)
- SIS 部会幹事会 (2024年9月, オンライン or 北海道大学)
- SIS 部会 研究奨励賞 審査および授与 (2024年3月)
- SIS 部会 技術賞 審査および授与 (2024年3月)
- SIS 部会 研究奨励賞 審査および授与 (2024年9月)
- SIS 部会 技術賞 審査および授与 (2024年9月)

## 反応工学部会

### 1. 国際関連事業

- 27th Canadian Symposium on Catalysis (27<sup>th</sup> CSC) ジョイントセッション  
(シェルブルック、ケベック州、カナダ:2024年5月12~15日)
- Canadian Chemical Engineering Conference (CSCHE 2024) ジョイントセッション  
(トロント、オンタリオ州、カナダ:2024年10月6~9日)

### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- 第26回化学工学会反応工学部会若手会(反好会)講演会 (2024年3月)
- 日本セラミックス協会 MFD 研究会:第19回日本セラミックス協会マテリアル・ファブリケーション&プロダクション・デザイン研究会@東北大学 (2024年3月27~29日)
- 第11回 CVD 反応分科会講演会 (2024年5月)
- 第41回 CVD 反応分科会シンポジウム (2024年3月)
- 第42回 CVD 反応分科会シンポジウム (2024年6月)
- 第27回化学工学会反応工学部会若手会(反好会)講演会 (2024年9月)
- 2024年度ソノプロセス分科会見学会@信州大学 (2024年10月17日)
- 日本ソノケミストリー学会:第33回ソノケミストリー討論会(協賛)@信州大学 (2024年10月18、19日)
- 無機膜研究会 (2024年10-11月頃, 分離プロセス部会・膜工学分科会との共同開催)
- 第43回 CVD 反応分科会シンポジウム (2024年11月)
- 第18回触媒劣化セミナー (2024年11月~12月頃)
- 2024年度マイクロ化学プロセス分科会主催講演会・討論交流会 (2024年12月頃)
- 反応分離シンポジウム2024 (2024年12月頃)
- 反応場の工学分科会 2024年度講演会 (2024年12月頃)
- 第44回 CVD 反応分科会シンポジウム (2025年1月)
- 反応装置セミナー(仮題)(日時等詳細未定)

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- 第89年会 CVD 反応分科会オーガナイズドセッション (2024年3月19日)
- 第55回秋季大会にて部会シンポジウム、ポスターセッション (2024年9月)
- 第55回秋季大会にて CVD 反応分科会による部会横断型シンポジウム (2024年9月)
- 第55回秋季大会にてマイクロ化学プロセス分科会シンポジウム (2024年9月)

### 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- 令和5年度触媒反応工学分科会賛助会員のつどい (2024年9月~12月頃)
- 第6回 CVD 反応分科会講習会 (2024年12月)

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- 化学工学年鑑(2024)の執筆
- 触媒劣化報告書の発行

### 6. 受託事業の推進

なし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ マイクロ化学プロセス分科会 HP による各種啓発活動
- ・ 反応分離ニュース

(2024 年 12 月頃)

8. 特記事項

- ・ 令和 7 年度部会賞審査、決定
- ・ 触媒反応工学分科会幹事会(2024 年 3 月、9 月)
- ・ CVD 反応分科会幹事会(2024 年 3 月、6 月、9 月、11 月、2025 年 1 月)
- ・ 反応工学部会若手会(反好会)幹事会(2024 年 3 月、9 月)
- ・ 第 81 回 CVD 研究会共催(2024 年 8 月)
- ・ 第 82 回 CVD 研究会共催(2024 年 12 月)
- ・ R05 年度 CVD 反応分科会奨励賞授与, 記念講演, R06 年度 CVD 反応分科会奨励賞審査, 決定
- ・ 日本カナダジョイントセッションへの参加補助
- ・ 国際会議での学生発表補助

## 環境部会

---

1. 国際関連事業

- ・ ブルーカーボンに関する国際シンポジウム(仮題)

時期: 2024 年 12 月頃を予定

場所: 叡啓大学(広島市)を予定

発表件数: 5件程度の予定

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 第 36 回環境工学連合講演会「持続可能で強靱な社会への変革に向けて」共催(幹事学会)

(5 月 28 日, 日本学術会議講堂+オンライン)

- ・ 各分科会において見学会等を実施予定

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 化学工学会秋季大会において「環境部会シンポジウム」を主催

(一部に企画セッション「カーボンニュートラルとファイナンス」を計画)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学年鑑 2023(環境化学工学)

6. 受託事業の推進

なし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会関連の情報を適宜、部会員全体のメーリングリストにて提供

8. 特記事項

- ・ 環境部会 2024 年度総会 (3 月, ハイブリッド)

- ・ 環境部会 2024 年度幹事会 (9 月, ハイブリッド)

## 材料界面部会

---

1. 国際関連事業

- ・ IChES2024 でのアジア国際賞受賞講演を含む以下のセッションを企画・運営する(March 18, 2024)

“Cutting-Edge Technology in Material Processing for Structural and Functional Controls”

- ・ CGOM15 (15<sup>th</sup> Crystal Growth of Organic Materials), Phuket, Thailand (July 23-26, 2024)

## 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 材料化学システム工学討論会 2024 (夏-秋頃、開催地調整中)
- ・ 日本海水学会年会講演会 協賛予定(晶析技術分科会) (2024年6月26-27日 OIST, 沖縄)
- ・ 塗布技術分科会 第72回定例会合 (ハイブリッド: 関東)
- ・ 塗布技術分科会 第72回定例会合 (ハイブリッド: 関西)
- ・ 塗布技術分科会 第73回定例会合 (ハイブリッド: 関東)
- ・ 塗布技術分科会 第73回定例会合 (ハイブリッド: 関西)
- ・ 晶析操作の基礎と実践 協賛予定 (晶析技術分科会)
- ・ 共通基盤シンポジウム 2025 (2025年1月頃、開催地や詳細は調整中)

## 3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第55回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム 材料・界面討論会 ～材料創製と界面研究の最前線～ 口頭、ポスター(予定)
- ・ 第55回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <晶析技術分科会シンポジウム> (予定)
- ・ 第55回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <機能性微粒子分科会シンポジウム> (予定)
- ・ 第55回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <ソフトマター工学分科会シンポジウム> (予定)

## 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 塗布技術研究会 2024年度合宿討論会
- ・ 晶析セミナー2024
- ・ 第17回 機能性微粒子分科会セミナー (開催日時、場所は調整中)
- ・ 第9回ソフトマター工学分科会講演会 (2024年7月、積水化学工業株式会社(大阪または京都)で調整中)

## 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

なし

## 6. 受託事業の推進

なし

## 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 【材料・界面部会ニュース】部会員に対して随時メール配信
- ・ 【晶析技術分科会ニュース】晶析技術分科会会員に対して配信

## 8. 特記事項

- ・ R6年 第1回 機能性微粒子分科会委員会 (2024年3月18日を予定)
- ・ R6年 第2回 機能性微粒子分科会委員会 (2024年9月頃を予定)

# 基礎物性部会

## 1. 国際関連事業

- ・ 10th International Symposium on Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation (MTMS '24) (2024年8月26-29, 福島県郡山市, 郡山中央公民館、郡山公会堂)を共催し、情報交換と国際交流を図る。
- ・ 33rd European Symposium on Applied Thermodynamics (50th anniversary of ESAT, ESAT2024) (2024年6月9-12日, イギリス・エディンバラ)にて、情報交換と国際交流を図る。
- ・ 28th Thermodynamics Conference (Thermodynamics2024) (2024年9月4-6日, オランダ・デルフト)にて、情報交換と国際交流を図る。
- ・ 2024 AIChE Annual Meeting (2024年10月27-11月1日, アメリカ・サンディエゴ)にて、情報交換と国際交流を図る。

## 2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 蒸留フォーラム 2025(未定)(協賛(予定))
  - ・ 分離技術会等、基礎物性部会と関連のある学会と共催および協賛の講演会等を開催する。
3. 本部大会・支部行事関連行事
- ・ 第 26 回学生発表会(2024 年 3 月 2 日, オンライン)
  - ・ 第 89 年会(2024 年 3 月 18-20 日, 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス)
  - ・ 第 55 回秋季大会(2024 年 9 月 11-13 日, 北海道大学 札幌キャンパス)
4. 講習会・セミナーなどの啓発活動
- ・ 基礎物性部会ミニ講演会(オンラインで定期的実施予定)
  - ・ 分離技術会等、基礎物性部会と関連する学会と協力して、企業研究者を対象とした物性測定技術、推算法の最新技術およびその応用に関する講習会を協賛・共催する。
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
- ・ 化学工学年鑑 2023
6. 受託事業の推進
- なし
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
- ・ 部会員に向けた部会ニュースレターを配信し、部会員間の情報交換と部会事業への積極的な参加を促す。
8. 特記事項
- なし

## 分離プロセス部会

---

1. 国際関連事業
- ・ 化学工学会 89 年会 国際セッション  
行事名: Advanced techniques of gas separation in Asia  
開催年月日 2024 年 3 月 18 日(月)  
会場: 大阪公立大学  
オーガナイザー: 川喜田英孝(佐賀大)、大渡啓介(佐賀大)、赤松憲樹(工学院大)、野村幹弘(芝浦工大)
2. シンポジウム・講演会などの行事
- ・ 第 11 回分離プロセス最新技術講座  
分離プロセス部会では、第一線で活躍されている研究者・技術者を講師に迎え、分離プロセスの最新技術を平易に解説する講座を開催する予定である。
3. 本部大会・支部行事関連行事
- ・ 化学工学会第 55 回秋季大会シンポジウム 分科会セッション  
分離プロセス部会シンポジウム(口頭)  
分離プロセス部会ポスターセッション(ポスター)  
他数件を予定
  - ・ 化学工学会第 55 回秋季大会シンポジウム「分離プロセス産業セッション 2024(仮)」  
分離プロセス部会では、2021—2023 年度において産業界の技術者による分離プロセス関連の講演会を開催してきた。2024 年度においても、産業界と学術界の交流の場として、同趣旨のセッションを開催する予定である。
  - ・ 部会横断シンポジウムの開催
4. 講習会・セミナーなどの啓発活動
- ・ 分離プロセス部会若手の会発足

分離プロセスの次世代を担う若手研究者の横の繋がりを構築するために、分離プロセス部会若手の会を発足する予定

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 会誌「化学工学」の年鑑 2024 における「分離操作」の取りまとめ(分離プロセス部会:固液分離分科会)

6. 受託事業の推進

なし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会 HP を随時更新し, 部会会員への情報提供を強化する。
- ・ ニュースレターを年一回のペースで発行する。

8. 特記事項

なし

## 熱工学会

1. 国際関連事業

なし

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ **化学工学会第 89 回年会におけるシンポジウム「熱エネルギー技術の統合による CO<sub>2</sub>削減への挑戦」**

概要: 熱を取り扱う技術や課題について、分野横断的に情報交換を行いながら、持続可能な社会の実現に向けて熱工学が果たすべき役割について考える。

開催日: 化学工学会 89 年会 (2024 年 3 月 18 日~20 日)期間中

会場: 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス

- ・ **化学工学会第 55 回秋季大会における「熱工学会シンポジウム」**

概要: 熱を取り扱う技術や課題について、分野横断的に情報交換を行いながら、持続可能な社会の実現に向けて熱工学が果たすべき役割について考える。熱と関わる基礎・応用研究にとどまらず、装置開発および改善に関する実例の報告、問題提起などを広く募集する。

開催日: 化学工学会第 55 回秋季大会 (2024 年 9 月 11 日~13 日)期間中

会場: 北海道大学 札幌キャンパス

- ・ **化学工学会第 55 回秋季大会における部会横断シンポジウム「プラズマプロセッシングの新展開」**

概要: プラズマプロセッシングは新規材料合成や環境問題解決のための先端基盤技術として注目されており、プラズマによるナノ粒子合成、機能性薄膜の作製、表面処理に加え、有害物質処理などの幅広い分野に応用されている。本シンポジウムでは、プラズマプロセッシングの基礎と応用に関する討論をもとに、化学工学における新たな展開を探る。

共催: エネルギー部会

開催日: 化学工学会第 55 回秋季大会 (2024 年 9 月 11 日~13 日)期間中

会場: 北海道大学 札幌キャンパス

- ・ **(公)日本伝熱学会主催**

**第 61 回日本伝熱シンポジウムにおけるオーガナイズドセッション(OS)「化学プロセスにおける熱工学」** 合同企画

内容: 本部会とも関係の深い「化学プロセス」に関連した熱工学分野の研究発表を募集し、セッションを企画する。日本伝熱学会員とも交流を深め、学術・技術面での情報交換を行う。

開催日: 2024 年 5 月 29 日~31 日

会場: 神戸国際会議場

- ・ **日本潜熱工学会主催 第13回潜熱工学シンポジウム(共催)**

内容：潜熱利用による省エネルギーを目指す日本潜熱工学会の主催する潜熱工学シンポジウムにおいて、潜熱工学に関する最新の技術情報の交換. 発信を行い、交流を深め、学術・技術面での情報交換を行う。

開催日：2024年11月28日～29日

会場：岡山大学 津島キャンパス

- ・ **第58回 化学工学の進歩講習会(協賛)**

内容：未定

開催日：12月頃を予定

会場：名古屋を予定

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ **2023年度総会**

内容：2023年度の部会の行事・決算報告, 2024年度の行事予定・予算の審議等を行う。

開催日：化学工学会89年会(2024年3月18日～20日)期間中

会場：大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス

- ・ **2024年度第1回熱工学部会研究会・総会**

内容：部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。

開催日：化学工学会第55回秋季大会(2024年9月11日～13日)期間中

会場：北海道大学 札幌キャンパス

- ・ **2024年度第2回熱工学部会研究会**

内容：部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。

開催日：熱工学部会セミナーと同じ

会場：熱工学部会セミナーと同じ

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ **熱工学部会セミナー(1回/年)**

内容：熱工学に関連する重要かつ興味あるテーマを設定し、複数名の講師に講演を依頼するとともに、参加者間でテーマに関する議論並びに情報交換を行う。

開催日：未定

会場：未定

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ **化学工学誌 10号 年鑑**

6. 受託事業の推進

なし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ **部会ホームページにおける情報発信を強化するために、ホームページの内容を充実させる。**

8. 特記事項

- ・ **熱工学部会賞**

化学工学会第55回秋季大会における「熱工学部会シンポジウム」での発表者を対象とする。

## 化学装置材料部会

---

1. 国際関連事業

なし

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・部会講演会(6回/年) 分科会の会合時および総会時に開催予定。

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第89年会 2024年3月18日～20日 「化学産業技術フォーラム:化学装置の高経年化と余寿命評価, および補修による寿命延長」
- ・第55回秋季大会 2024年9月11日～13日

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・各分科会での研究会活動 各分科会において、研究会や見学会等を開催する。
  - 腐食分科会関東支部共催 材料セミナー (7月29日(月))、他

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・化学工学年鑑、トピックスの執筆、化学工学便覧改訂8版の執筆への協力

6. 受託事業の推進

なし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・部会メールマガジンを適宜発行(6回)

8. 特記事項

- ・化学装置材料部会 2024年度総会(2回/年)
- ・化学装置材料部会 2024年度役員会(2回/年)